

王子保っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『令和6年度 全国学力・学習状況調査(2024.4.18実施) 6年生対象』の結果から～

今年度は、「国語」と「算数」の学力調査が行われました。学習状況調査の結果についても紹介します。

国語

＜学習指導要領の6内容（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」）の結果から＞



【良いところ】

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容において、【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する問題では、文の中における主語と述語との関係を捉えることをきちんと理解していて、学年全体としても大変良好な結果です。
- ・「読むこと」の内容において、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く問題では、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができていて、全国や県と比べて良好な結果です。
- ・また、同じ「読むこと」の内容において、「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する問題では、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができています。

【伸ばしたいところ】

- ・「読むこと」の内容において、【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものと、適切なものを選択する問題で、人物像を具体的に想像することに課題がみられました。
- ・「書くこと」の内容において、高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと、適切なものを選択する問題で、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることに課題がみられました。
- ・漢字を文の中で正しく使う問題では、「競技」、「投げる」という漢字の誤答が見られました。

学校では、文章と図表などの資料を読み取るとともに、それらを関連付けて読むことを通して、内容を理解したり、解釈したりする学習活動や、目的に応じて必要な情報を見つけながら読み、元の文章の構成や表現を生かしながら短くまとめる学習活動に力を入れていきます。今後も朝読書を継続し、文章に触れる時間をつくっていきます。また、新聞を教材として活用し、内容をまとめたり、討論の話題にしたりして学ぶNIEにも取り組み、新聞を読む活動も増やしていきます。

児童のみなさんは、相手や目的、自分の意図、場面や状況に応じて、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりすることを意識して、これからの学習に取り組んでいきましょう。また、漢字の学習をするときは、ただ覚えるだけではなく、漢字辞典や国語辞典、iPadを使って、漢字の成り立ちやそれを使った熟語やその意味などを調べたり、その漢字を使って文章を書いたりしましょう。

算 数

〈学習指導要領の4領域（「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」）の結果から〉



【良いところ】

- ・「数と計算」の領域において、はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ問題では、数量の関係を、□を用いた式に表すことがしっかりできています。
- ・「図形」の領域においては、作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ問題では、直方体の見取図について理解し、かくことができています。
- ・「変化と関係」の領域では、3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く問題では、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができています。
- ・「データの活用」の領域において、折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く問題では、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することがよくできています。

【伸ばしたいところ】

- ・「数と計算」の領域において、わる数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ問題で、わる数と商の大きさの関係について理解することやわる数が小数である場合のわり算の計算をすることに課題がみられます。また、 $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×16 の積の求め方と答えを書く問題で、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がみられます。
- ・「図形」の領域において、直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く問題で、高さが等しい三角形について、球の直径の長さ立方体の一辺の長さの関係をつえ、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がみられました。また、五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く問題で、角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することに課題がみられました。
- ・「変化と関係」の領域において、家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く問題で、速さの意味について理解することに課題がみられました。

学校では、繰り返し学習を計画的に実施するとともに、学習した算数の知識や技能を日常生活で活用する機会を増やし、基礎・基本の学習内容が身につくようにしていきます。また、計算コンクールを引き続き実施し、計算の定着を図ります。さらに、下学年の問題にも定期的に取り組み、確実に身につくようにしていきます。その際、誤答を含めた複数の解答を提示し、間違いやすいポイントを話し合うことで、正しく計算するために必要な決まりや考え方を確認していくようにします。

児童のみなさんは、落ち着いて問題文を読み、正確に計算することを心がけましょう。ご家族でお菓子や飲み物を分けたり、体育で記録を計ったりする時など、算数には活用できる場面がたくさんあります。いろいろな場面で、「算数ではどうなるのかな？」と考えるといいですね。

学習・生活の様子

質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

◎は、よい傾向、▲は、心配な傾向



【家庭や地域に関すること】

◎ほとんどの児童が朝食を毎日食べており、毎日同じ時刻に寝たり起きたりできる児童の割合も高く、規則正しい生活が身についています。

◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童の割合が、国・県平均と比べて高い傾向があります。

▲家で自分で計画を立てて学習をしている児童が比較的少なく、土曜日や日曜日など学校が休みの日に学習している時間が少ない傾向にあります。休日にも家庭で計画を立てて学習する時間を持つ習慣を身につけましょう。

【自分自身に関すること】

◎ほとんどの児童が将来の夢や目標を持っていて、人の役に立つ人間になりたいと思っています。

◎ほとんどの児童が、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っています。また、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあると思っています。

▲普段、1日当たりテレビゲームをする時間や携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をする時間が国・県平均と比べて長い傾向にあります。家庭では活字に親しむ時間として、本と向き合い読書する時間を増やしましょう。

▲普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりしている児童の割合が低いようです。学校の掲示板に新聞コーナーをつくり小学生新聞を掲示しているので、それを読んだり、世の中の新しいできごとに注目したりする習慣を身につけましょう。

【学校に関すること】

◎多くの児童が、学校に行くのが楽しいと思っています。また、友達関係に満足しています。

◎多くの児童が、学校で先生は、自分のよいところを認めてくれていると感じています。

◎学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うことは学習の中でいろいろな面で役に立つと思うと答えた児童の割合が、国・県平均と比べて非常に高い傾向があります。また、多くの児童が学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えています。

▲普段、PC・タブレットなどのICT機器を学校の授業時間以外に、学習のために使っている時間が少ない傾向があります。持ち帰っているタブレットを、動画の視聴など学習以外のことに使うのではなく、今日学習したことをふりかえったり、次に学習することを調べたりすることに使うように心がけましょう。